

第6回 紀の川流域委員会 H13.1 2.20

資料-5

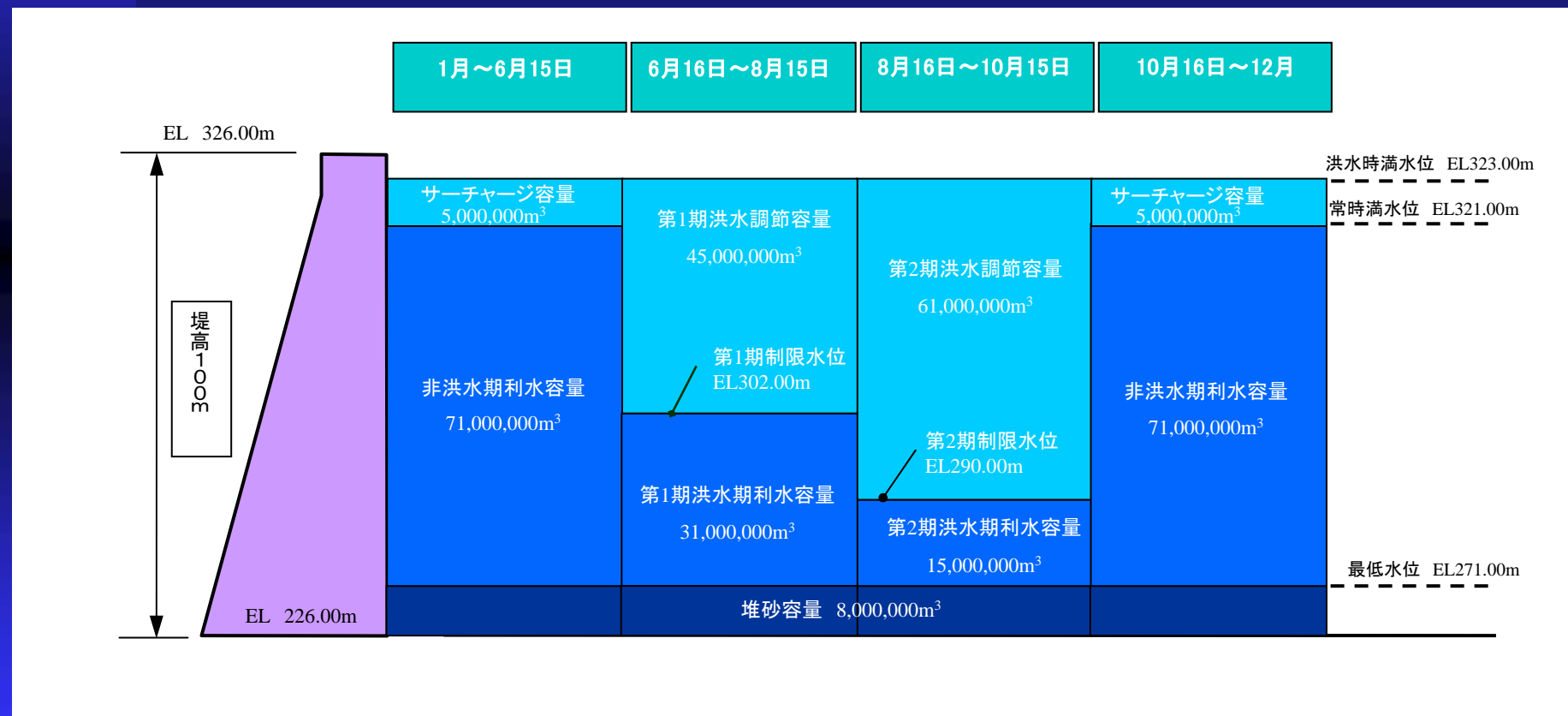
大滝ダム洪水調節容量について

大滝ダム洪水調節容量について

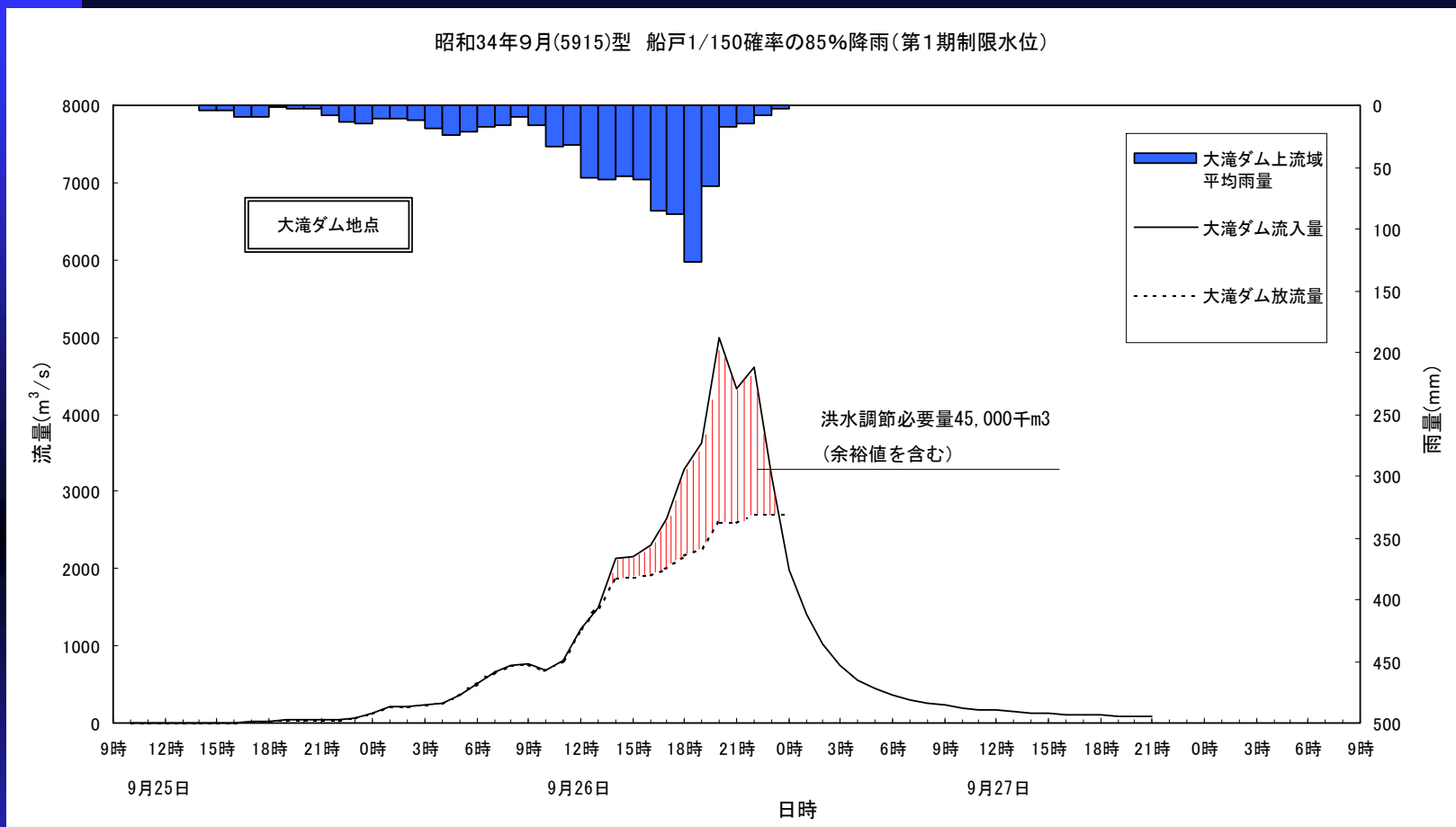
国土交通省 近畿地方整備局

大滝ダム洪水調節容量について(1)

出水期における洪水の傾向を梅雨期(第1期制限期間6/16~8/15)と台風期(第2期制限期間8/16~10/15)に区分しました。



大滝ダム洪水調節容量について(2)

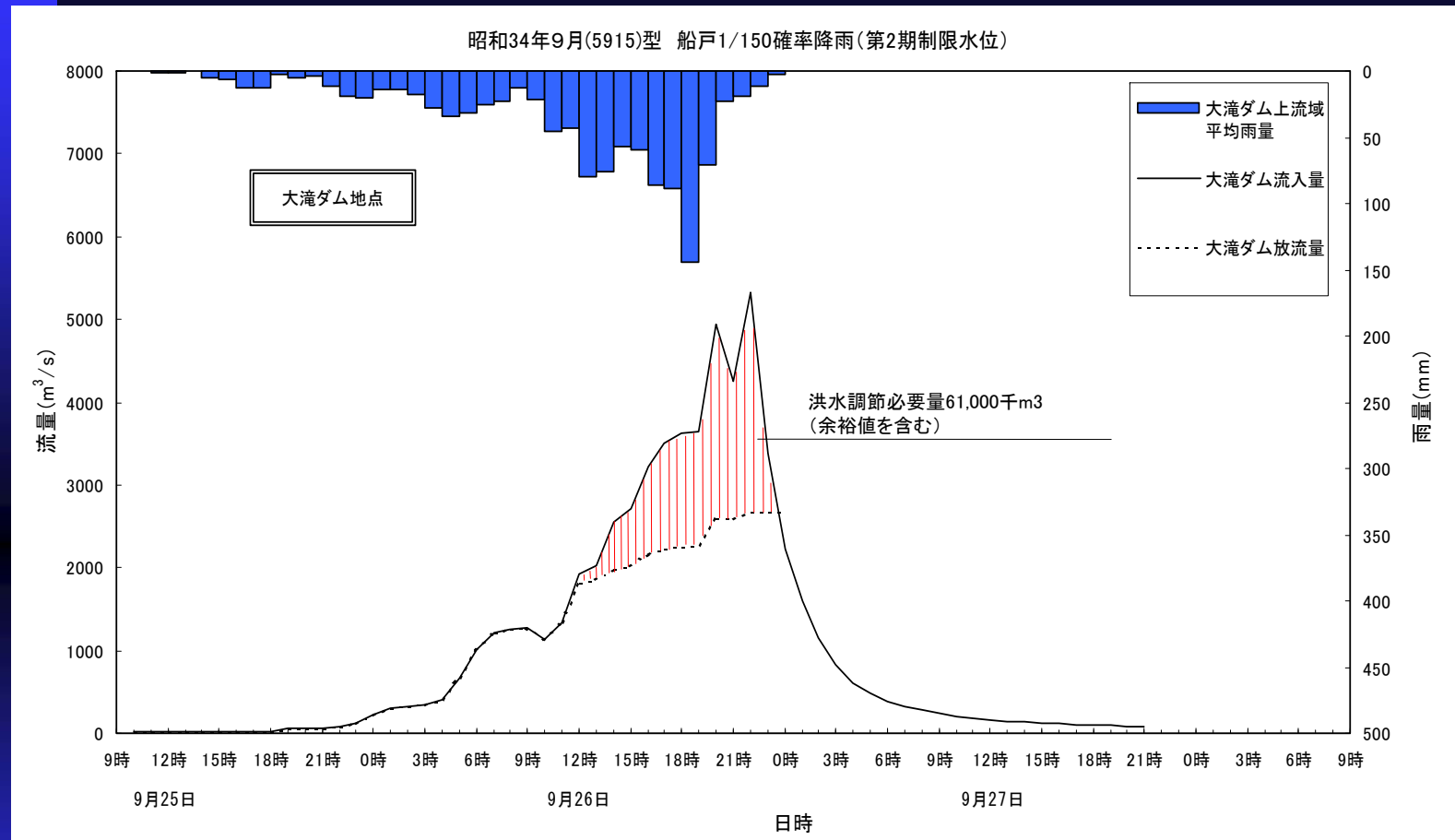


第1期制限水位

過去の「年間を通しての代表洪水降雨」と「第1期制限水位期間(6/16~8/15)における代表洪水降雨」とを比較すると、後者は前者の約85%に相当する。

その結果、S34. 9月型洪水 船戸地点降雨確率1/150に相当する440mmに85%乗じた値、374mmの通過洪水により決まる必要調節容量に余裕値2割を加えて45,000千m3としました。

大滝ダム洪水調節容量について(3)



第2期制限水位

工事実施基本計画策定における検討洪水において、下流基準地点(船戸・橋本)およびダムサイト地点における所定の安全度を確保出来るように治水容量検討を実施した。

その結果、S34. 9月型洪水 船戸地点降雨確率1/150(440mm)の通過洪水により決まる必要調節容量に余裕値2割を加えて61,000千m³と決定しました。